

新潟県立看護大学の機関リポジトリ構築の試み

著者	関谷 伸一, 橋本 明浩, 吉原 貴子, 中野 正春, 水口 陽子
発行年	2011-04
URL	http://hdl.handle.net/10631/914

平成22年度 新潟県立看護研究交流センター地域課題研究

新潟県立看護大学の機関リポジトリ 構築の試み

関谷伸一，橋本明浩，吉原貴子，
中野正春，水口陽子

新潟県立看護大学

本学図書館ホームページ

新潟県立看護大学図書館ホームページ - Windows Internet Explorer

http://lib.niigata-cn.ac.jp/

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

Google キーワードを入力して検索

お気に入り | Google Scholar | Google

新潟県立看護大学図書館ホームページ

NCN LIBRARY MENU

Information

開館日程表

図書館の概要

利用案内

学外の方へ

学外からの複写依頼

OPAC検索(蔵書検索)

※AM3:00-4:30停止

(バックアップのため)

・新着資料

・雑誌タイトル検索

(動作環境)

OPAC講習会(PDF.112kb)

利用状況照会new

文献依頼(複写・購入リスト)new

購読雑誌一覧

新聞

電子ジャーナル

修士論文題名一覧

新潟県立看護大学リポジトリにこナーズ

リンク集

新潟県中越地震

図書館だより


図書館HOME

English

新潟県立看護大学

大学までのアクセス

NIGATA COLLEGE OF NURSING LIBRARY



新潟県立看護大学図書館

Niigata College of Nursing Library

Update:2011/04/20

NEW TOPICS

- 2010.4.14 医学論文データベース更新のお知らせNEW
- 2010.4.12 平成22年度蔵書数、利用統計を掲載しましたNEW
- 2010.4.7 OPAC講習会が随時受け付けています
- 2010.4.1 産学雑誌展示のお知らせ
- 2011.3.28 有料情報リソースの無償提供について
- 2011.3.28 4月臨時休館および閉館時間短縮のお知らせ
- 2011.3.23 東北地方太平洋沖地震で被災された大学生・教職員・保健医療福祉従事者の当館の利用について
- 2011.2.22 図書館WebOPACの新しいサービスを開始します
- 2010.10.1 新潟県立看護大学リポジトリにこナーズを公開

開館カレンダー

2011年4月

- :09:00~20:30
- :09:00~17:00
- :09:30~16:30
- :13:00~20:30
- :休館

4月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

電子ジャーナル、リポジトリが随時更新しています
(上記以外のお知らせはInformationをご覧ください)
OPAC講習会を休休みに開催しています

新潟県立看護大学リポジトリ
Niigata College of Nursing Repository








NICONURS / にこナーズ

新潟県内大学
図書館
共通開館

NCN LIBRARY MENU

開館日程表	開館カレンダーです
概要	本学図書館の概要です
利用案内	利用方法をお知らせします
OPAC検索	本学図書館の蔵書検索と最近1か月以内に受入れた新着資料案内です
新着資料	
雑誌タイトル検索	
修士論文題名一覧	
新潟県立看護大学リポジトリ	本学の研究成果・教育資源等

文献検索データベース

概要	検索ガイド	取載誌
(内容説明および下記以外はリンク集 3.文献検索へ)		
医学中央雑誌Web (学内専用) 必ず「終了」→「ログアウト」ボタンを押して終了してください(同時アクセス4) 正しい終了手順を踏まないことによるアクセス数オーバーが多発しています。ご注意ください(4/14) ■バージョンアップのお知らせ(4/25~)	 (9MB)	
Cinii(論文情報ナビゲータ)(国立情報学研究所) ※本文提供条件が「定額許諾」のものは学内専用 当面、計画停電の有無にかかわらず定常運転		
メディカルオンラインライブラリー(学内専用)		
CINAHL(学内専用)(同時アクセス4) ※推奨 動作環境変更のお知らせ(11/1)	 (920KB)	

ローカルイントラネット

“リポジトリ repository”とは

英語の意味:「**容器、貯蔵所、倉庫**、(知識などの)**宝庫**、…」(三省堂コンサイス英和辞典より)

「研究論文などを電子化して蓄え、インターネット上に公開し、いつでも、誰でも、どこからでも閲覧することができるようにするシステム(**オープンアクセス**)」

新潟県立看護大学機関リポジトリ構築の経緯

平成	月	事項
19	7	文部科学省の「 社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム 」に採択
20	10	図書委員会主催の研修会 「研究成果発信と学術情報リポジトリ」開催
21	7	新潟県大学図書館協議会で「 新潟県地域共同リポジトリ 」承認
21	10	看護研究交流センター 平成22年度地域課題研究 「新潟県立看護大学の機関リポジトリ構築の試み」採択
21	11	図書館により「 新潟県立看護短期大学紀要 」の電子化作業開始
21	11	『「新潟県立看護大学リポジトリ」の構築について(要望)』(中野, 関谷, 橋本)を 情報化推進本部 に提出

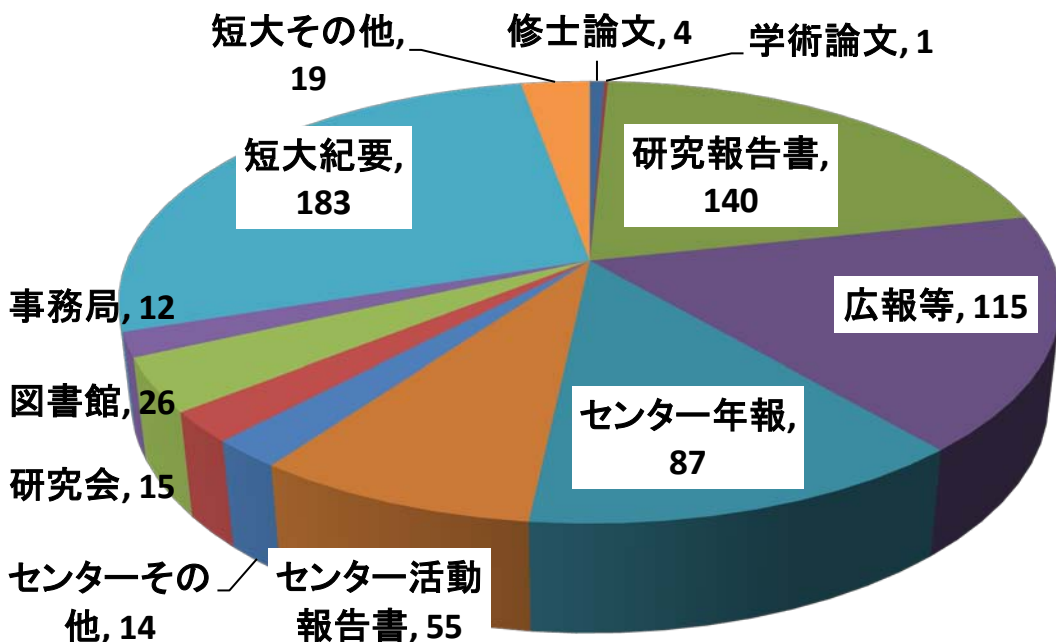
平成	月	事 項
21 ～ 22	12 ～ 3	厚生労働省「 緊急雇用創出事業 」による予算措置で、システム構築とコンテンツ（報告書，センター年報，広報誌等）の電子化
22	1	情報化推進本部「 学術研究成果物の電子化・公開の同意について（依頼） 」発行
22	4	試験公開
22	9	情報化推進本部が本学リポジトリの略称を「 NICONURS（にこナース） 」と命名
22	11	「新潟県立看護大学 リポジトリ運用指針 」制定
22	12	新潟県立看護大学機関リポジトリ「 にこナース 」として 正式公開
23	2	リポジトリ研修会 （「 にこナース 」構築記念フォーラム）開催

厚生労働省「平成21年度緊急雇用創出事業」 による予算措置

業務内容	人員	期間	予算額
システム構築 電子化・登録作業	外部委託	3ヶ月	1,373,000
電子化にかかわる事 務処理	1名	3ヶ月	486,000
資料の電子化作業			

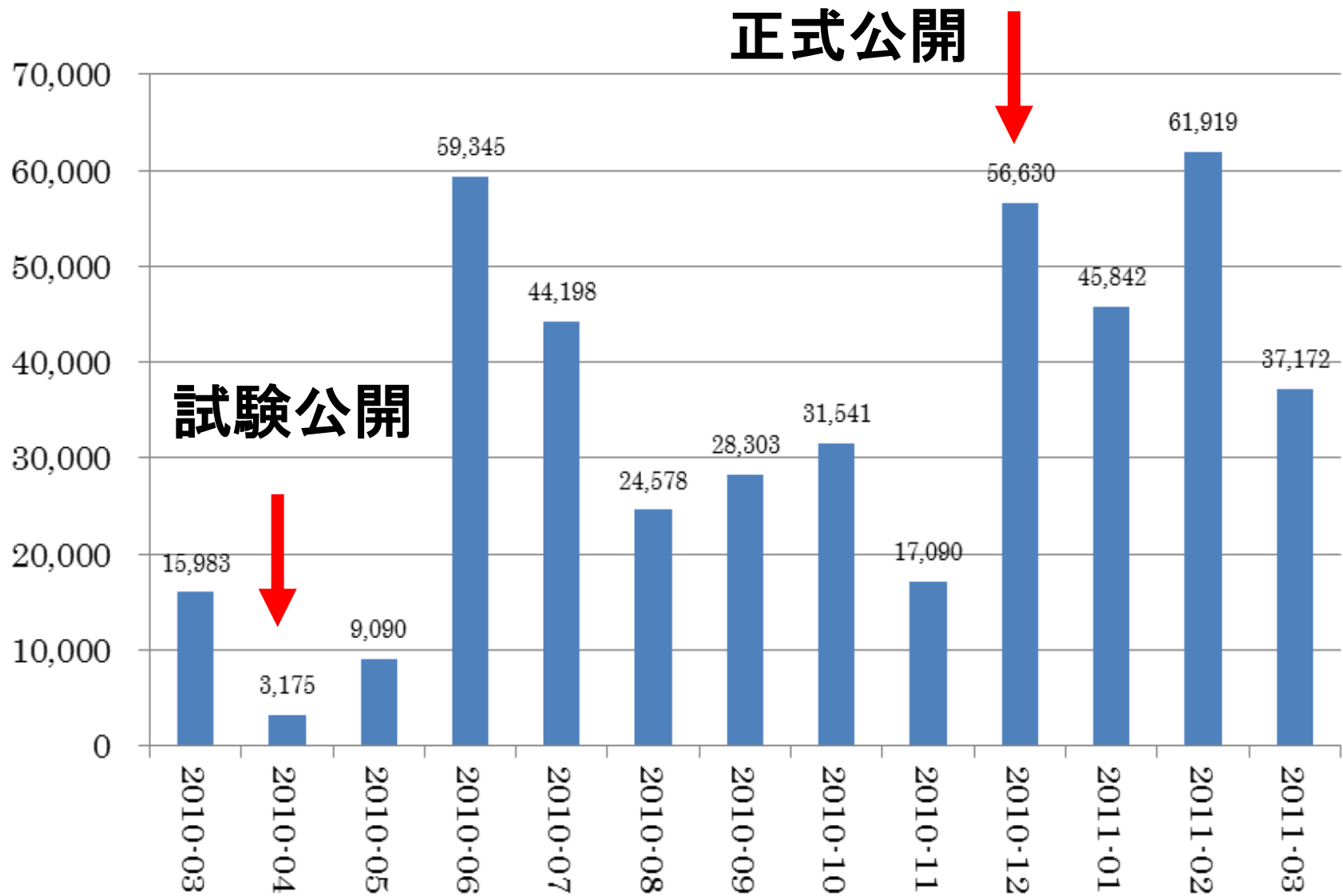
“にこナース”の概要

- 正式名称:新潟県立看護大学リポジトリ
- 英語名称: **Niigata College of Nursing Repository**
- 略称: **NICONURS**
- 愛称: にこナース
- 登録されている資料: 671件 (平成23年4月22日現在)

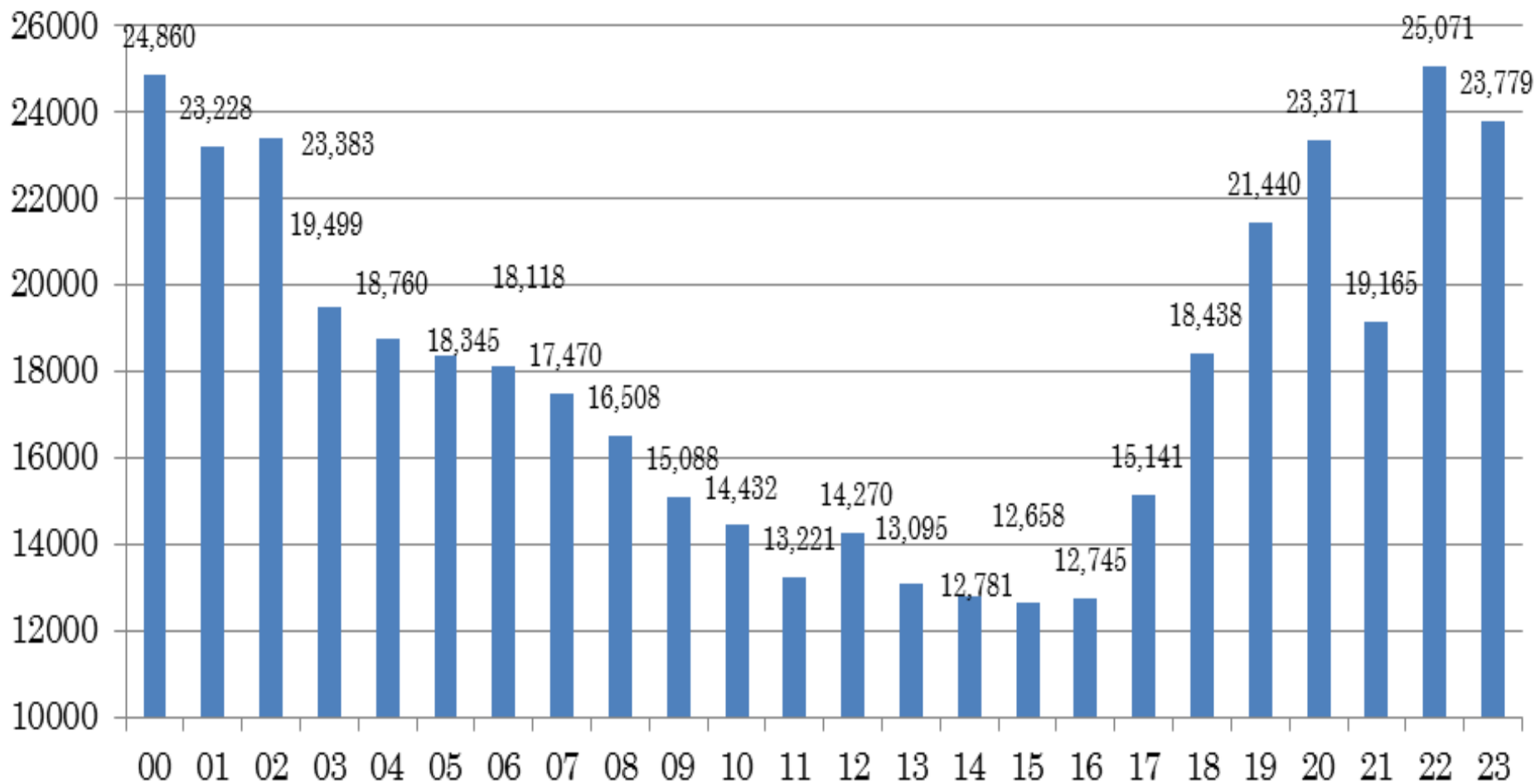


資料	件数	%
研究論文報告書	145	22%
センター関連	156	23%
広報誌等	168	25%
短大関連	202	30%

サーバへの月別アクセス件数



サーバへの時間帯別アクセス件数



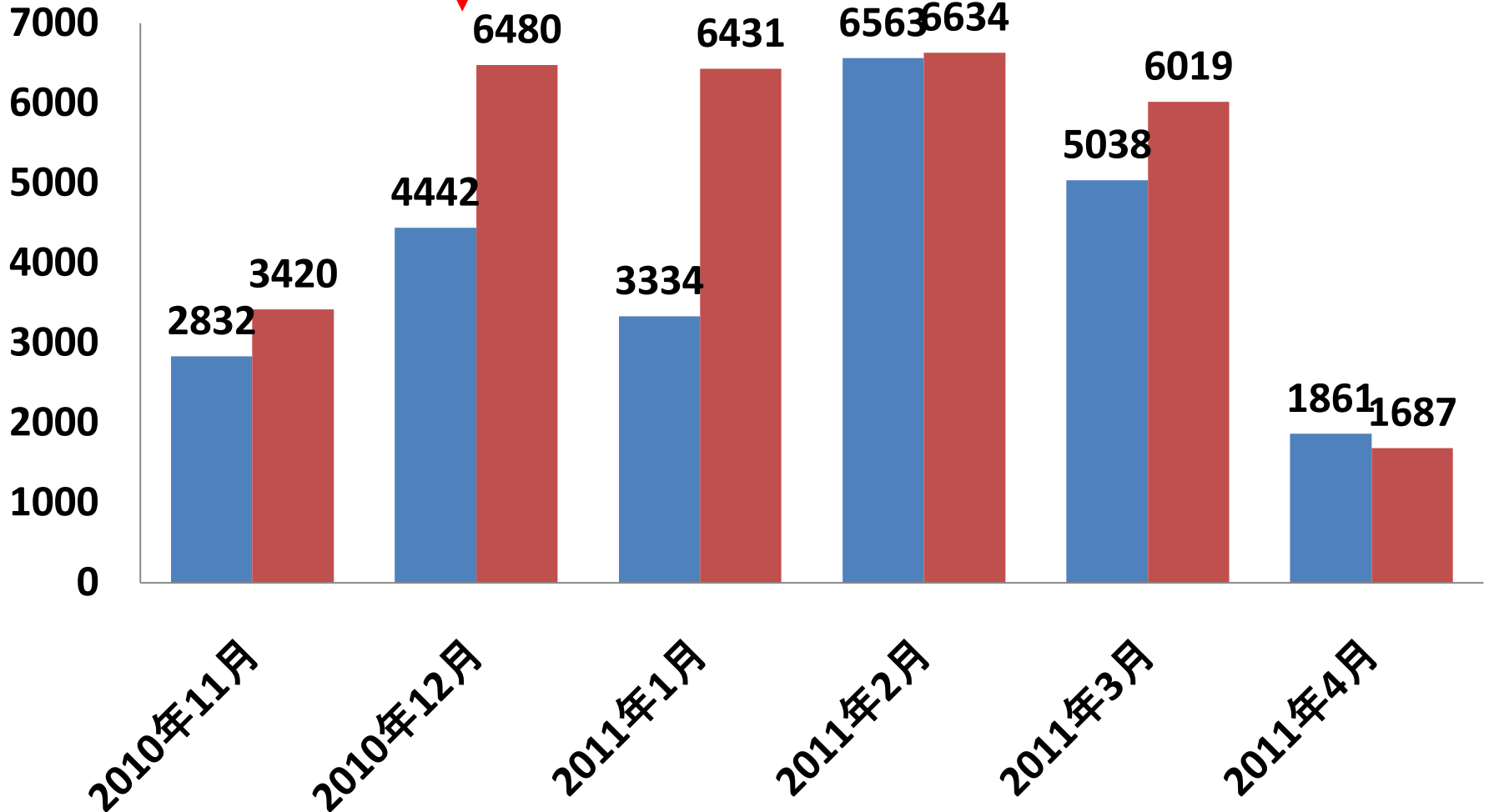
“にこナース”の利用状況

(全期間における閲覧, ダウンロード件数)

正式公開



■ 閲覧 ■ ダウンロード



高頻度ダウンロード資料名, (種別), 件数

(平成23年4月22日現在)

- 1 緩和ケアにおける看護師の役割と・・・ (修士論文) 776
- 2 “本学の現状と課題:・・・ (自己点検評価報告書) 730
- 3 看護婦のストレスに関する研究:・・・ (短大紀要) 628
- 4 “老人観”に関する研究の問題. (短大紀要) 606
- 5 新潟県立看護短期大学年報, 2001年度. (短大年報) 459
- 6 上越地域における快適で安心な住ま・・・ (短大紀要) 436
- 6 新潟県立看護大学自・・・ (自己点検評価報告書) 436
- 8 在宅要介護者の看護ニーズ・・・ (研究成果報告書) 422
- 9 「高齢者の性」に関する看護・・・ (研究成果報告書) 399
- 10 「高齢者の性」に関する研究(2):・・・ (短大紀要) 378

リポジトリ研修会

“にこナース”構築記念フォーラム(平成23年2月2日)

- ①「にこナースが生まれるまで」吉原貴子(本学図書学生係主任)
- ②「研究者とリポジトリ」矢田俊文(新潟大学前図書館長)
- ③「知の館が目指すもの～上越教育大学の取り組み～」岡崎敬子(上越教育大学学術情報課主任)
- ④「にこナースの夢」橋本明浩(本学教授)

「にこナーズの夢」 (橋本明浩 本学教授)

- 大学のみならず地方の病院から看護研究へのアクセスが可能となる(共同研究の促進)。
- 新潟県民および大学生を送り出す父兄への説明責任を果たす(大学のアピール)。

結論

1. 機関リポジトリ構築は、単に一組織の所管事業としてではなく、その**機関全体の事業**としての位置づけが必要である。
2. **著作権**処理が重要である。
3. システム構築と電子化に対する**予算措置**が必要である。
4. リポジトリを活用することにより以下のことが期待される。
 - ①本学研究活動の紹介と活性化
 - ②教育効果
 - ③大学の知的資産の蓄積